

令和7年度大野市スポーツ推進審議会

令和7年10月21日（火）19：00～
エキサイト広場総合体育施設 2階会議室

1 開会あいさつ（会長）

2 議事

- （1）今年度の取り組みの紹介について【資料 P1～5】
- （2）スポーツを取り巻く現状について【資料 P6】
- （3）令和8年度の課題と施策案について【資料 P7】
- （4）スポーツ推進計画の目標数値達成状況（R6年度末）について【資料 P8】
- （5）その他について

3 閉会あいさつ（副会長）

4つの基本目標

- 1 スポーツ参画人口の拡大
- 2 スポーツを通じた健康の増進
- 3 レベルの高い競技者の育成
- 4 子どものスポーツ活動の充実

(1)今年度の取り組みの紹介

【1.スポーツ参画人口の拡大】

●第61回大会の開催(5月25日)

- ・ ゲストランナーに福士加代子さんを迎え、あいにくの雨天であったが、全国から2,988人の参加があった。
- ・ ボランティアを始め子どもから高齢者まで、多くの市民が大会運営に携わる本大会の開催を通して、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことを体感できる大会となっている。
- ・ 昨年の60回大会は、マラソン雑誌「ランナース」が選ぶ2024全国ランニング大会100撰に選出された。
- ・ 7割以上が市外からの参加者で、スポーツツーリズムとして交流人口の拡大に繋がっている。



ハーフ部門のランナー



大野高校書道部のパフォーマンス



中学生のボランティア

(1)今年度の取り組みの紹介

【1.スポーツ参画人口の拡大、2.スポーツを通じた健康の増進】

● ウォーキングの推進

エキサイト広場アリーナのランニングコースを無料開放し、天候にかかわらずランニングやウォーキングに取り組むことができる場所を提供している。ヘルスウォーキングプログラムと連携し、ランニングコースを15回、30回と利用することで、ポイントを付与することとした。継続して利用している人が多い。

- ・ ランニングコース延べ利用者数 1,754人(9月末現在)

● スポーツ教室の実施

エキサイト広場やB&G海洋センターなどで、すわるビクス教室や水泳教室、トレーニング機器の使い方講座など、さまざまなスポーツ教室を実施している。

- ・ 教室等実績 12教室、延べ44回、延べ1,194人参加(9月末現在)



SUPヨガ教室



すわるビクス教室



トレーニング機器使い方講座



eスポーツ体験（福祉ふれあいまつり）

(1) 今年度の取り組みの紹介

【3.レベルの高い競技者の育成】

● 質の高い指導に対する支援

優秀な指導者の育成を図るため、指導資格の新規取得に要する費用に支援している。また、トップアスリートによるスポーツ教室の開催に要する費用を支援している。

・ 指導者資格取得補助

取得者数 3人(9月末現在)

・ トップアスリート等スポーツ教室開催事業補助

● 有望なアスリートの育成

全国大会などへの出場に要する交通費や宿泊費に支援している。

・ 全国大会等出場補助

補助件数 28件(9月末現在)

・ 全国大会等出場激励費

激励者数 15人(9月末現在)



全国大会出場者表敬訪問



(1) 今年度の取り組みの紹介

【4.子どものスポーツ活動の充実】

● 夏休みの小学生を対象に、エキサイト広場で「夏休みスポーツウィーク」とB&G海洋センターで「BG塾」を実施し、さまざまなスポーツに親しんでもらった。

- ・ 夏休みスポーツウィーク

延べ参加者数 75人(8月4日～8日)

- ・ BG塾

延べ参加者数 94人(7月28日～8月1日)

● 大野市・勝山市を会場に第60回福井県スポーツ少年大会(8月31日)を、開催した。県内のスポーツ少年団員総勢約950名が参加し、交流を深めた。



夏休みスポーツウィーク



わくわくお届け講座



福井県スポーツ少年大会(柔道)

(2) スポーツを取り巻く現状

【現状】

- 健康志向やライフスタイルの変化によりスポーツに対するニーズが多様化している。
- スポーツ協会や協会加盟団体の役員や、スポーツ少年団やクラブチームの指導者などの担い手が不足している。
- 考え方の変化や競技団体主催の大会の増加により、市が行う各種スポーツ大会へのニーズが変化し、市が行う各種大会への参加者が大幅に減少している。
- 全国や世界で活躍する本市出身の選手が輩出されており、全国大会などに出場する小中学生が多くいる。
- 中学校の休日の部活動が地域クラブに移行された。
- スポーツ施設が老朽化している。

課題	施策案
① スポーツを通じた健康づくりの推進	・多くの人が取り組みやすいウォーキングを推進する。 ・幅広い年齢や性別、目的に応じたスポーツ教室を実施する。 ・スポーツに関する情報を発信する。
② スポーツ少年団やクラブチームなどの指導者の育成	・指導者の資格取得に要する費用を補助する。
③ 今後を見据えたイベント等の見直し	・スポーツイベントの参加者が固定化、減少傾向にある中、市が開催する大会やイベントを市民のニーズに合わせて見直す。
④ 競技力の向上を目指す市民の支援	・全国大会などへ出場する選手を支援する。 ・トップアスリートを招いて開催するスポーツ教室に要する費用を補助する。
⑤ 社会体育（学校体育以外の体育活動）を行う団体や個人の活動場所の確保	・各団体などが安定して練習できるよう、既存施設を有効に活用し、活動場所の確保を支援する。
⑥ 施設の安全性や良好な状態を保つ	・計画的に施設の修繕やスポーツ器具の更新を行う。
⑦ イベント開催時や施設管理上の熱中症対策	・名水マラソンなどのイベントにおいて、熱中症の対策をする。 ・社会体育での施設利用者に対して熱中症の対策をする。

(4) スポーツ推進計画の目標数値達成状況

(R6年度末)

指標	内容	令和6年度 目標	令和6年度 実績	令和14年度 目標
市民1人当たりの 体育施設利用回 数	市民1人当たりの体育施 設(スポーツ振興担当所 管)の利用回数	8.00回	8.25回	9.00回
週1回以上スポー ツを実施してい る割合	週1回以上スポーツ(運 動)をしている市民(20 歳以上)の割合	—	—	50.0%
スポーツ指導者 公認資格の新規 取得者数	スポーツ指導者公認資 格の新規取得者数 (R4~R14の累計)	累計30人	累計33人 (14人/年)	累計80人
スポーツイベン トの開催や誘致	スポーツイベントの開 催・誘致数 (R4~R14の累計)	累計15回	累計30回 (10回/年)	累計50回
スポーツ教室や 各種スポーツ大 会の実施	市民対象のスポーツ教 室や各種スポーツ大会 の実施	延べ200回	延べ249回	延べ200回 (年間)